



10月は食品ロス削減月間

みんなで一緒に 減らそう食品ロス！

賞味期限が切れてしまった、食べ切れなかったという理由でまだ食べられるのに捨てられてしまう食品を**食品ロス**といいます。日本では年間約522万tの食品ロスが発生しています(令和2(2020)年度推計値 消費者庁)。これは1人1日当たり113g(茶碗約一杯分)の食品が捨てられていることとなります。この食品ロスを減らすためには一人一人の意識が欠かせません。下記を参考に、家庭でできる食品ロス削減への取り組みを始めてみませんか。



食品ロスを減らすためにできること

1

買い物では手前どり

スーパーなどでの買い物時に、商品棚の手前にある食品や値引き食品など、賞味期限や消費期限が近いものから購入していくことで食品の廃棄を減らすことができます。すぐに食べる・使う食品は手前から取りましょう。



2

買い物前に食材の在庫チェック

買い物前に冷蔵庫の中を確認してから行くなど、食材の在庫チェックをしましょう。消費者庁では冷蔵庫の中に残っている食材を無駄なく食べ切るレシピの紹介をしています。ぜひお試しください。



消費者庁
レシピ



3

余った食品は「フードドライブ」へ

もらったけど食べない、まとめ買いしたけど食べ切れないなど、家庭で不要となった食品を集めて、食品を必要としている人への支援に活用するフードドライブ。「もったいない」を「ありがとう」にかえるために、不要になった食品の活用にご協力ください。



フードドライブを実施します！

- 日時 10月28日(土)10:00~15:00
- 場所 イオン三好ショッピングセンター
- 集める食品 お米(白米)、パスタ、インスタント食品、食用油、しょうゆ・みそ・砂糖などの調味料、コーヒー・お茶などの嗜好品、肉・魚・野菜・果物の缶詰など

